

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名		No. 561201 災害見舞金等支給事業				主管課名		福祉課			
	この事務事業 の位置		政策		誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名		伊藤 欽治	
			施策		生涯健康で安心して暮らし続けられるまち							
			基本事業		経済的困窮者への支援							
	(1)事業の概要											
	災害により被害を受けた市民に対し、見舞金及び弔慰金を支給する						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
	災害見舞金 1件… 60,000円 (家屋の全焼・全壊) 災害弔慰金 1件… 150,000円 (死亡又は死亡と推定)						名 称		単 位			
							災害見舞金及び弔慰金支給件数		件			
							災害見舞金及び弔慰金支給額		千円			
							その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		災害により被害を受けた市民に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。 (手順)災害発生 防災安全課が福祉課へ連絡 福祉課現地確認 被災届 尾三消防へ被害状況の確認依頼 回答 見舞金支給										
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
被害を受けた市民に対し、見舞金又は弔慰金を支給して、被災者を救慰する。						名 称		単 位				
						災害見舞金支給件数 / 発生件数		%				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
市民へ生活支援をする。						名 称		単 位				
						生活保護受給世帯数		世帯				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		件	0	0	3	3	3	3				
		千円	0	0	270	270	270	270				
(6)の対象指標		人	58,216	59,800	60,600	61,400	62,500	63,600				
(7)の成果指標		%	0	0	100	100	100	100				
(8)の結果の成果指標		世帯	128	111	114	114	114	114				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	03	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	0	0	270	270	270	270				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	0	0	270	270	270	270			
人件費 B		千円	369	188	188	188	188	188				
正職員従事時間×人数		時間×人	50×2	50×1	50×1	50×1	50×1	50×1				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	369	188	458	458	458	458				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 人	0	0	0	0	0	0				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	561201 災害見舞金等支給事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和48年7月 から			特になし		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？					
災害により被害を受けた市民に対し、見舞金又は甲慰金を支給して、被災者を救慰するため。						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない			変化し大規模な災害は無いが、建物火災等が発生し変化している			

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	→ →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市災害見舞金等支給条例 災害により被害を受けた市民に対し、見舞金又は甲慰金を支給して、被災者を救慰するため。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	→	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	→ →	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	→ →	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	→	理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	→	理由 又は 内容	最近は見舞金を支給した事例はないが、今後も災害弱者のため現状制度を維持していく。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	→ →	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	→		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	→		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	→ →	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						